

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 29日

群馬県知事 あて

提出者 〒372-8550  
住 所 群馬県伊勢崎市粕川町1801

氏 名 山崎製パン株式会社 伊勢崎工場  
執行役員工場長 板橋 進

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0270(23)3111 (代)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

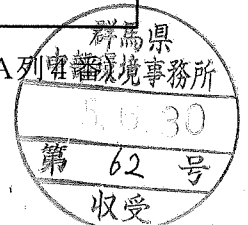
事業場の名称	山崎製パン株式会社 伊勢崎工場
事業場の所在地	群馬県伊勢崎市粕川町1801
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E09食品製造業（製餡・加工食品・ジャム・クリーム 他）
②事業の規模	302.41億円
③従業員数	680名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚泥⇒脱水⇒乾燥⇒肥料化</li> <li>・動食物性残渣⇒肥料化・飼料化</li> <li>・廃プラスチック⇒破碎・焼却</li> <li>・ガラスくず⇒粉碎・原料化</li> <li>・鉄くず⇒破碎・金属原料化</li> </ul>

（日本工業規格

A列）



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

総括責任者—工場長

管理責任者—総務課長 (担当廃棄物：廃プラスチック、動植物性残渣、ガラス屑)  
廃棄物適正処理の指導、廃棄物の減量化・再資源化の計画立案管理責任者—工務課長 (担当廃棄物：汚泥、金属くず)  
工場内中間処理施設の運営・保守・管理

事務局—総務課 廃棄物のデータ管理、減量化・再資源化の計画立案

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度（2022年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
		排出量	17,616 t	559 t
		(これまでに実施した取組) 廃油や廃プラ（原料容器）を有価物として売却した。		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
②計画		排出量	17,439 t	553 t
		(今後実施する予定の取組) 有価物としての売却を促進していく。		

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラを分別することで、有価売却できる物を選定する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラの有価売却物に対応可能な委託業者を選定していく。

動植物性残さ	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず	
3,541 t	0.11 t	23.16 t	

動植物性残さ	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず	
3,505 t	0.10 t	22.92 t	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	17,146 t	t
(これまでに実施した取組) 乾燥能力を安定させるため、機械設備の一部を更新した。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	17,318 t	t
(今後実施する予定の取組) 上記取り組みを継続実施していく。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（2022年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（2022年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
		廃プラスチック類
	全処理委託量	470 t
	優良認定処理業者への処理委託量	470 t
	再生利用業者への処理委託量	470 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
(これまでに実施した取組)		
廃プラの再資源化の質の向上（熱回収→固形燃料化）に対応可能な委託業者を選定。		

t	t	t	t

t	t	t	t

動植物性残さ	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず	
3,541 t	0.11 t	23.16 t	t
1,258 t	0.11 t	t	t
3,541 t	0.11 t	23.16 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	465 t	553 t
	優良認定処理業者への処理委託量	465 t	69 t
	再生利用業者への処理委託量	465 t	553 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	226 t
(今後実施する予定の取組) 廃プラの再資源化の質の向上(熱回収→固形燃料化)に対応可能な委託業者の選定を継続中。			
※事務処理欄			

動植物性残さ	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず	
3,505 t	0.10 t	22.92 t	t
1,245 t	0.10 t	t	t
3,505 t	0.10 t	22.92 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t